

第 27 回 ESV 国際会議 (ESV2023) 開催概要

【会 期】令和 5 年 4 月 3 日 (月) - 6 日 (木)

(テクニカルツアー：4 月 6 日 (木) 午後, 7 日 (金))

【会 場】パシフィコ横浜ノース

【主 催】米国運輸省道路交通安全局 (NHTSA) , 国土交通省, 経済産業省

【協 賛】公益社団法人自動車技術会 【事務局】一般財団法人日本自動車研究所

【開会式】4 月 3 日 9:30~11:45

○ 開会挨拶

○ ESV 米国政府表彰授与式 (自動車安全への貢献や研究等での功績に対する表彰)

- ・ 特別賞 (Special Award of Appreciation)

日本から 2 名ノミネート

- ・ 安全技術優秀賞 (Award for Safety Engineering Excellence)

日本から 4 名ノミネート

○ 政府ステータス報告 (自動車安全政策の状況に関する各国政府の発表)

【展示場オープニングセレモニー】4 月 3 日 11:45~12:00

○ リボンカット

- ・ Ann Carlson 米国運輸省 道路交通安全局局長代理
- ・ 高橋理和 ESV 推進委員会 委員長 (一般財団法人日本自動車研究所)
- ・ 野津真生 国土交通省 自動車局次長
- ・ 藤本武士 経済産業省 大臣官房審議官 (製造産業局担当)

【パネルセッション】

○ プレナリー・パネル・セッション (テーマ：エイジング・ソサエティ) 4 月 3 日 13:00-14:30

モデレーター： Ibrahim Sow (カナダ運輸省)

スピーカー： Anne E. Dickerson (イースト・カロライナ大学)

Pierre-Olivier Milette (欧州自動車工業会 (ACEA))

吉澤隆 (日産自動車)

野津真生 (国土交通省)

○ スペシャル・セッション① (テーマ：サイバー・セキュリティ) 4 月 3 日 15:00-16:00

モデレーター： Cem Hatipoglu (米国道路交通安全局)

スピーカー： 新国哲也 (交通安全環境研究所)

Andre Smulders (オランダ応用科学研究機構)

Josh Davis (トヨタモーターノースアメリカ)

Norma M. Krayem (Van Scoyoc Associates)

○ スペシャル・セッション② (テーマ：セイフティ・システム・アプローチ) 4 月 3 日 16:30-17:30

モデレーター： Tim Johnson (米国道路交通安全局)

スピーカー： Hyoung Gu Kim (韓国自動車試験研究所)

Derece Smither (心理学者)

Cecilia Sunnevang (オートリブ株式会社)

【ランチ・セッション】

○ テーマ①先進安全システムの使用過程の安全性 4月4日 13:00-13:45

スピーカー：須田義大（東京大学大学院生産技術研究所）

○ テーマ②サイバー物理システムの自律性の確保

スピーカー：Sandeep Neema（ヴァンダービルト大学）4月5日 13:00-13:45

【テクニカル・セッション】

日付	トラック A	トラック B	トラック C
4月4日（火） 8:30～12:30	交通弱者や子ども乗員の保護	前面衝突・後面衝突事故時の移動者の安全性	衝突回避のためのアクティブセーフティシステム（新システム・技術）
4月4日（火） 14:00～18:00	実験/コンピュータシミュレーション解析手法を用いたバイオメカニクス/人的傷害研究の進歩	側面衝突・ロールオーバー事故時の自動車の安全性	運転自動化システム（①進展状況、②安全性評価、③実用化への課題）
4月5日（水） 8:30～12:30	衝突試験用人体ダミー、計測装置、およびデータ解析技術の進歩	最先端の自動車安全統合技術	ADAS・ADS 技術におけるヒューマンファクターの検討
4月5日（水） 14:00～18:00	学生自動車安全技術デザインコンペティション：最終口頭発表	ユーザー視点に基づく自動車安全性能の向上のためのアプローチ	人工知能・機械学習技術の自動車安全対策への応用・課題
4月6日（木） 8:30～12:30	ADS 搭載車（SAE レベル 3,4,5）向け安全性評価手法の策定と適応	衝突時の乗員拘束装置の設計・性能向上に関する挑戦（幅広い年齢/身長差および性差といった幅広いニーズへの対応）	最先端の実交通データの収集・分析・便益評価手法

【展示場】4月3日 12:00～17:30、4・5日 9:30～17:30、6日 9:30～12:30

- ・ Additium Technologies
- ・ Applied Institution
- ・ Applus IDIADA
- ・ Autoliv Japan Ltd.（オートリブ株式会社）
- ・ Automotive Coalition for Traffic Safety, Inc. (ACTS)
- ・ Cellbond
- ・ DAIHATSU MOTOR CO., LTD.（ダイハツ工業株式会社）
- ・ Department of Transportation/NHTSA（米国運輸省道路交通安全局）
- ・ Honda Motor Co., Ltd.（本田技研工業株式会社）
- ・ HORIBA, Ltd.（株式会社堀場製作所）
- ・ ISUZU MOTORS LIMITED（いすゞ自動車株式会社）
- ・ Japan Automobile Research Institute（一般財団法人日本自動車研究所）
- ・ JASTI Co., LTD（株式会社ジャスティ）
- ・ KYOWA ELECTRONIC INSTRUMENTS CO., LTD.（株式会社共和電業）
- ・ Mazda Motor Corporation（マツダ株式会社）

- ・ Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism (国土交通省)
 - ・ Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. (三菱重工業株式会社)
 - ・ Mitsubishi Motors Corporation (三菱自動車工業株式会社)
 - ・ National Agency for Automotive Safety and Victims' Aid (NASVA:独立行政法人自動車事故対策機構)
 - ・ National Traffic Safety and Environment Laboratory (NTSEL:独立行政法人自動車技術総合機構交通安全環境研究所)
 - ・ Nissan Motor Co., Ltd. (日産自動車株式会社)
 - ・ SUBARU CORPORATION (株式会社 SUBARU)
 - ・ Suzuki Motor Corporation (スズキ株式会社)
 - ・ TOYOTA MOTOR CORPORATION (トヨタ自動車株式会社)
 - ・ VBOX JAPAN Inc. (VBOX JAPAN 株式会社)
 - ・ ZF Friedrichshafen AG
- ※ アルファベット順

【自動車安全機能体感試乗会（トヨタ自動車）】

4月3日 12:00～17:30、4・5日 9:30～17:30、6日 9:30～12:30

- パーキングサポートブレーキ（静止物）
- プラスサポート（急アクセル時加速抑制機能）

【テクニカルツアー】※先着申込順

- 4月6日（木）午後 デンソー Global R&D Tokyo, Haneda
- 4月7日（金）終日 トヨタ自動車 東富士研究所
- 4月7日（金）終日 日産自動車 ニッサンインテリジエントファクトリー

【参加登録等】

第27回 ESV 国際会議ホームページ（英語サイトのみ）

<https://www.27esv.org/index.html>